

きらめき通信 Vol.24

今年も、九州大学病院きらめきプロジェクト「第5回学生交流会」を開催することとなりました。

今回は皆さんが日常から接している【色】についての講演です。色鉛筆を使ってあなたの心理状態を探っていきます。沢山の方々の参加をお待ちしております。

学内・医療従事者対象
学生以外の方の参加も大歓迎

九州大学病院きらめきプロジェクト

第5回学生交流会

～あなたの知らない・・・本当の色の世界～

『色と心理を知られば、人生が100倍変わる!』

演者: 上村ワタル氏 (色と心理の研究家/プロカラーセラピスト)

日時: 平成26年12月2日(火) 18時～
交流懇親会19時15分～(軽食付き)

場所: 九州大学病院総合研究棟
セミナー室105号室・サイエンスカフェ



PROFILE

プロ カラーセラピスト 歴20年。
人間が受ける感情、行動には色の影響があることに気づいた。色彩が心理を動かす、すると思考と行動が変わる!それは健康にも直結している関係に注目した。英国カラーセラピーを基に独学の勉強と研究結果より独自の色彩心理の理論を広めている。日本各地で胎教から子育て、保育園幼児から大人、教員、会社員、営業コンサルまでさまざまなテーマでオリジナルの講演会、講座、研修、セミナーなどに呼ばれ活動中。

将来をイメージできる色って?
プレッシャーに打ち勝つための色って?
モてるために取り入れたい色って?

患者さんの服の色と心理状態の関係は?



【お問い合わせ・託児のお申込みはこちら】
九州大学病院 きらめきプロジェクトキャリア支援センター
TEL/FAX: 092-642-5203
メール: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp
URL: <https://www.kyudai-kirameki.com>
主催: 九州大学病院 福岡県医師会
共催: 総合メディカル株式会社
※無料託児あり。1週間前までに要予約



将来の事を相談できる医師と交流できます!

九州大学病院 きらめきプロジェクトキャリア支援センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1 2014年11月(隔月発行予定)

TEL/FAX: 092-642-5203

MAIL: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

URL: <https://www.kyudai-kirameki.com>



日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクター (医師1名・歯科医師1名)を紹介します。

☆自己紹介☆

2014年4月から、きらめきプロジェクトでお世話になっています皮膚科医師です。現在、医師6年目です。2年前までは、他大学の皮膚科に入局していました。結婚を機に前医局を退局し、福岡に転居してからは、精神科病院の皮膚科や美容皮膚科のクリニックなどで働いていました。昨年4月に長男を出産し、大分の母の協力のもと、産後2カ月から復帰しました。主人も同郷ですので、遠い将来は地元に戻ることを視野に入れていますが、その時に皮膚科医として働くためには専門医が必要だと感じていましたが、もう機会がないだろうと諦めてもいました。また、専門医が取れないにしても、未熟なままフリーになり、相談できる上の先生も身近にいなかったため、一生このまま継続していく事に限界を感じていました。

きらめきプロジェクトの話を伺い、勉強できる最後のチャンスかもしれないと思い、応募させて頂きました。現在は週2回、外来の枠を頂き、1日は急患往診、もう1日は初再診として勤務しています。枠外の時間には処置室に勉強に伺っています。また、週1回の皮膚科カンファランスに参加することで、自分の患者さんについてはもちろんのこと、他の先生方の患者さんの検査内容、治療方針を知ることができ、非常に刺激になります。大学の外来で初診を診るのは特に責任を要すると感じています。そのため、分からない事や自分の手技の実力的にできない事に遭遇する度にあたふたしてしまい、緊張の連続ですが、きらめきプロジェクトの先生方やスタッフの方々、皮膚科の先生方のご指導のおかげで、どうにか勤務させて頂いております。

実際に子供を産むまで、私は育児の大変さがよく分かっていませんでした。自分さえ頑張れば育児、家事、仕事のすべてこなせると思っていたのですが、現実と思うようにはいかない日々です。今年の4月から子供を保育園に預けだしましたが、熱発が多く、初めは3日と通わせることができませんでした。月に5日間しか通園できなかった時もあり、肺炎にもなりかけ、しばらくは先が見えませんでした。また、子供の病気は家族に蔓延しますので、自分自身も毎日のように38度台の熱発が続く中、約3か月間ロキソニン内服を継続し、勤務してきました。自分を責めて現状に悩んでいましたが、最近になってやっと子供が通園できる日が増え、友達と笑顔で遊んでいる姿を見ることができ、安心しています。今は、出産の機会がある女性医師は、それからが長い道のりだと感じています。臨床から長く離れるのは不安、キャリアを向上させたいと感じても、子供の事を考えると身動きがとれず、諦めざるを得ない場合が多いと思います。きらめきプロジェクトに採用して頂いたおかげで、勉強する場を頂き、新しい知識も増え、非常に感謝しています。また、時間的な面でも育児家事をどうにかこなせており、とてもありがたいです。どこの大学にも同様の制度があるわけではないと知り、このプロジェクトの存在にとっても感謝しています。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

☆自己紹介☆

こんにちは、卒後16年目の歯科医師で、6年後輩の歯科医師の夫と長女(4歳)長男(9ヶ月)の4人家族です。

☆きらめきプロジェクトに参加するまで、参加してから☆

歯学部卒後、顔面口腔外科で2年間研修をし、その後基礎系の大学院に進学しました。大学院修了後は再び口腔外科で勤務しましたが、その頃はまだ仕事や研究、あるいは自分の時間を楽しむのに一生懸命で、「家庭を持ち、子供を産み育てる」というイメージは自分の中で全くありませんでした。その頃は女性のライフワークバランスというものに対する世間一般の理解も今ほどなく、私の中でも両立する自信はなかったからかもしれません。

卒後10年目でようやく今の主人と結婚し、私も仕事と家庭の両立について考えるようになってきました。ちょうどその頃、同期の友人が当時発足したきらめきプロジェクト一期生となり、生き生きと仕事をする様子を側でみていて、仕事と家庭の両立に少し自信がもてるようになってきました。卒後12年目でようやく長女を授かり、職場の皆様のサポートのおかげで、産後3ヶ月で無理なく医員に復帰できました。その後2年間、子育てしながら総合病院の歯科口腔外科勤務をし、昨年4月に再び九大病院で勤務を始め、口腔外科の専門医も取得できました。ここまでは順調に両立できていたのですが、しかし…

かねてより、もう一人子供が欲しいと考えていたので42歳での高齢出産に挑戦することにしました。出産するにあたって、キャリアを途切れさせたくない、インプラントの専門医も取りたい、でも両親は高齢で子育ての手伝いは頼めない、上の子供とももう少し向き合いたい、などのいろいろな欲張りな思いが重なりプロジェクトに応募させて頂きました。

今年の1月に2人目を出産。4月より週に2日再生歯科インプラントセンターに勤務しながら、他の曜日はこれまでのキャリアを生かせるよう市内の病院口腔外科などで半日勤務をしています。

☆最後に☆

きらめきプロジェクトに参加して、周囲の人たちがいかにサポートしてくれているか改めて感じられました。このプロジェクトを更に発展させ、より多くの人が利用していくためには、まずは自分が周囲の親切に甘えてしまわずに、今出来る事をしっかりと行ない成長していく事が大切だと考えています。